



SOPHIA UNIVERSITY LIBRARY

上智大学図書館だより

No. 15

創立100周年記念号 (Vol.1)



THE 100TH ANNIVERSARY MEMORY



撮影:昭和27年(1952年)

旧図書館

1952

当時の学生総数は1,000名足らずでした。現在2号館が建っている場所に、真田堀に向かう形で建設されました。その後、学生数の増加に伴って昭和58年(1983年)現中央図書館を建設したため、旧図書館はラウンジに姿を変えました。



中央図書館竣工式の様子



建設中の中央図書館

1982

SOPHIA UNIVERSITY LIBRARY THE 100TH ANNIVERSARY MEMORY

現在の四谷キャンパス

2013



学生数約10,000名、教職員数1,000余名と規模が大きくなり、旧図書館は収容席数、蔵書能力の限界に達しました。

総合研究棟の機能強化のため、大学院研究室と研究所および図書館が融合し、さらに図書をも統合、整備して学問、研究体制をより有機的に発展させるべく、140万冊所蔵可能な書庫と、閲覧席として約3,000席(当時)を有した新図書館は昭和58年(1983年)12月に完成しました。

竣工式でケルン大司教ヨゼフ・ヘフナー枢機卿(当時)は新図書館を「連続性の象徴、普遍性の象徴、現代性の象徴」と表現しました。

地下2階から地上8階の10フロアに人文・社会系および理工系の図書が開架式の書架に配架されました。ピタウ学長(当時)が「上智大学全体の研究センター、大学の心臓にしたい」と述べたとおり、本学の特色であるキリスト教関係はもとより、国際関係、比較文化に関する図書、文献、諸資料を併せて拡充し、日本における東西文化交流の1つの中心拠点となるべく、上智の正に「叡智」を結集した建物となりました。

中央図書館完成

1983

昭和58年(1983年)12月



参考資料／『上智大学史資料集 第一集～第五集、補遺』
写真提供／上智学院総務局企画広報グループ資・史料室



上智大学図書館の貴重資料紹介①: シーボルトコレクション

今回の表紙を飾っているのは当館の貴重資料の1つ、『シーボルトコレクション』の『日本動物誌』の中で紹介されている『カワラヒワ』の図版です。ここでは『シーボルトコレクション』についてご紹介します。

シーボルト (Phillip Franz von Siebold) は、1796年に南ドイツのヴュルツブルクに生まれ、ヨーロッパを遠く離れた地での博物学研究を望んでオランダ海軍の軍医となり、1823年に来日しました。

出島に居を構え、産科や白内障の手術など臨床医として活躍するかたわら、熱意と好奇心を持って日本の文物や植物・動物の標本など膨大な資料を収集し、日本の民族学的・博物学的調査研究も続けました。

当館では、『日本』、『日本動物誌』など貴重な資料の本文や図書の一部を『シーボルトコレクション』として所蔵しています。

『シーボルトコレクション』を始めとする貴重資料の詳細な解説や書誌・所蔵情報、および表紙・標題紙・図版などの画像情報は貴重資料データベースで見ることができますので、ぜひご覧ください。



貴重資料データベース URL http://libknwlg.lib.sophia.ac.jp/mcenter/cate_index.htm



「カワラヒワ」とは?

全長14cm、九州以北、林・草地・農耕地・河原などに生息する。全身はオリーブがかった褐色で、短く丈夫そうな嘴と、翼と尾に黄色の斑があるのが特徴。高い声でキリキリコロコロと鳴く。

図書館だよりは、図書館ホームページ上でも公開しています。
これまでのバックナンバーもありますので、ご覧ください。

<http://www.sophia.ac.jp/jpn/research/lib/topics/dayori>



上智大学図書館だより No. 15

発行所 上智大学図書館
〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1
TEL : 03-3238-3510
FAX : 03-3238-3139
発行日 2013年4月1日
印刷 三鈴印刷株式会社
TEL : 03-5276-0811